



育苗した野菜苗を出荷するJA職員  
(神奈川県相模原市で)

# 野菜作り省力化へ

神奈川県・相模原市  
JA相模原市 高品質苗を出荷

【神奈川・相模原】  
JA相模原市は、JA園芸組合員に供給する野菜苗の育苗作業を行っている。農作業の省力化と畑での栽培期間の短縮、収穫率の向上が目的だ。JA営農センター育苗ハウスでは、キャベツ4品種、ブロッコリー4品種の計1130枚を一括で育苗している。

高品質な苗を目指し、JA職員が出荷まで温度や水の管理などを丁寧に行う。組合員からは「手間のかかる苗作りの労力を他の作業や栽培に充てることができる。品質も高く信頼している」と好評だ。

出荷は品種に応じて行う。9月上旬には、JA営農経済部の職員

が予約分を出荷。支店を通じて組合員宅へ配送した。

JA営農経済部営農支援課の齋藤敦さんは「少量多品目の栽培で小ロットの需要も増えているように感じる。組合員が安心して農業を続けられる環境を整え、さまざまなニーズに応えていきたい」と話した。